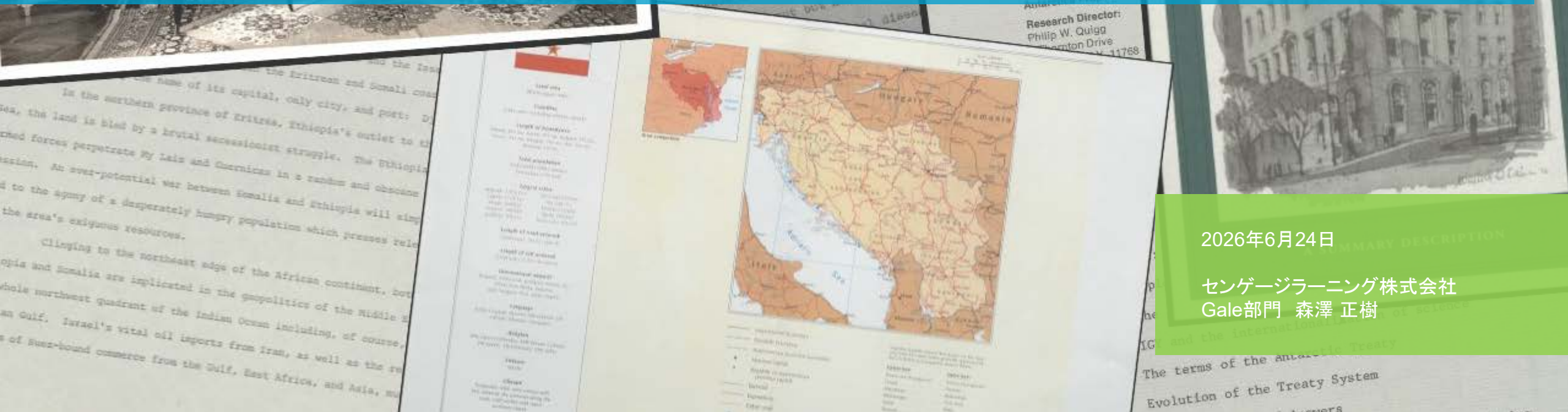


GALE PRIMARY SOURCES

グローバル政治と米国外交：外交問題評議会（CFR）文書集 1918-2000年

Global Politics and US Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918–2000

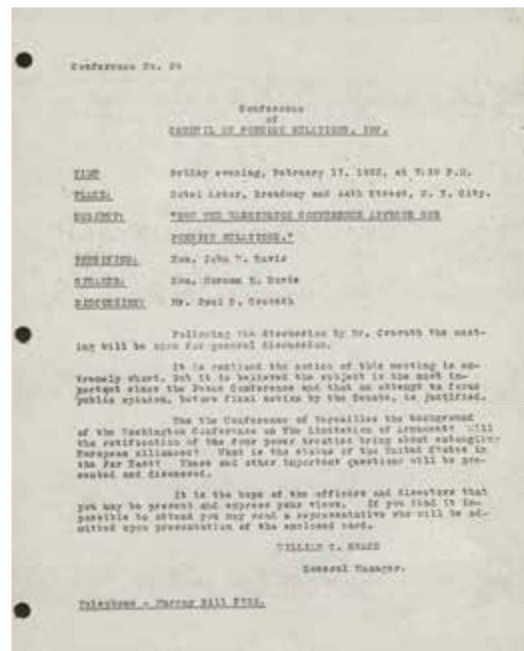


2026年6月24日

センゲージラーニング株式会社
Gale部門 森澤 正樹

本日のアジェンダ

- 外交問題評議会(CFR)について
- グローバル政治と米国外交: 外交問題評議会(CFR)文書集 1918-2000年
 - 概要
 - 収録コレクション／資料の例
 - ご利用条件について
- デモンストレーション
- 研究トピック・関連資料のご案内



グローバル政治と米国外交:外交問題評議会(CFR)文書集 1918-2000年

Global Politics and US Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918–2000

外交問題評議会（CFR）について

- 1921年設立、アメリカ合衆国の外交政策に関する研究・提言を行う非政府・非営利・超党派のシンクタンク。本部ニューヨーク、会員5,000名以上。国際問題のシンクタンクとしてはもっとも高いステータスをほこる組織のひとつ。アメリカの利益を代表しつつ、国際問題への積極的な関与を提唱し、いわゆる孤立主義とは一線を画す。
- 歴代大統領・閣僚をはじめ、政財界の大物や外交官、国際政治の専門家を多数擁し、研究グループ、会議・イベント、雑誌『Foreign Affairs』をはじめとする出版活動、教育・啓蒙プログラムなどを通じてアメリカの外交政策に大きな影響を与えてきた。H・キッシンジャー、G・ケナン、Z・ブレジンスキー、C・ライスなど、CFRでの活躍をきっかけに政界に転身した人物も多い。
- 英国の王立国際問題研究所(チャタムハウス)とは、同じくパリ講和会議時の米英代表団にルーツをもち、姉妹機関のような位置づけである。

※弊社ではチャタムハウスの文書・演説集(1920–2008)もデジタル化しております。



ニューヨークのCFR本部（ハロルド・プラット・ハウス） - [Wikimedia](#)より

COUNCIL *on*
FOREIGN
RELATIONS



グローバル政治と米国外交:外交問題評議会(CFR)文書集 1918-2000年

Global Politics and US Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918–2000

概 要

- 第一次大戦後の1921年に設立され、アメリカを代表する外交官、政治家、国際政治学者、財界人などが超党派で集い、アメリカの外交政策に大きな影響を与えてきたシンクタンク、外交問題評議会(Council on Foreign Relations, CFR)の1918年から2000年までの研究グループ・会議に関する内部資料を初めてデジタル化。
- 20世紀アメリカの外交政策や国際秩序をめぐる重要な議論の多くを含み、政府文書や出版物では把握しきれない、シンクタンクによる政策提言の背景にある専門家・要人による多様な意見交換や合意形成のプロセスを検証するための貴重な一次史料。
- 原本提供機関: プリンストン大学図書館、外交問題評議会(CFR)
- 収録年代: 1918–2000年
- 規模: 文書8,916点・441,300ページ
- スキャニング: 新規スキャニング
- リリース: 2025年12月



グローバル政治と米国外交:外交問題評議会(CFR)文書集 1918-2000年

Global Politics and US Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918–2000

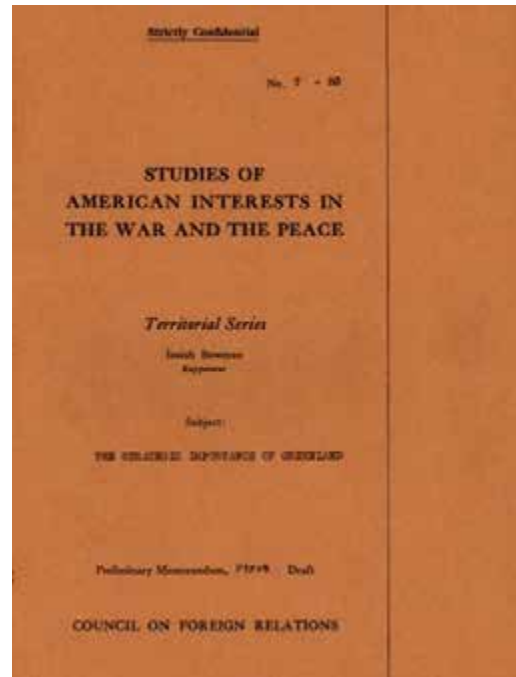
収録コレクション

コレクション名	主な内容	収録年代	点数	ページ数
研究グループ文書 Studies Department, Records of Groups	米国が国益を有する国や地域に関する政策を討議するために都度 CFR内で立ち上げられる研究グループ(Study Group)の資料	1918-2000年	1,609	236,630
同・補遺 Studies Department Series Additions		1985-2000年	465	21,940
戦争と平和研究グループに関するW・ディーボルト収集文書 Studies Department, William Diebold Papers on the War and Peace Studies Group	CFR会員のウィリアム・ディーボルトが参加した1939-1945年の戦争と平和研究グループ関係の文書	1929-1990年代 (主に1940年代)	310	11,900
会議関係文書 Records of Meetings	様々なテーマのもとに米国内外の要人・識者を招いて開催される講演会・フォーラムなどに関する資料	1921-1998年	5,444	112,630
同・補遺 Meetings Series Additions		1972-2001年	1,088	58,200
		合計	8,916	441,300

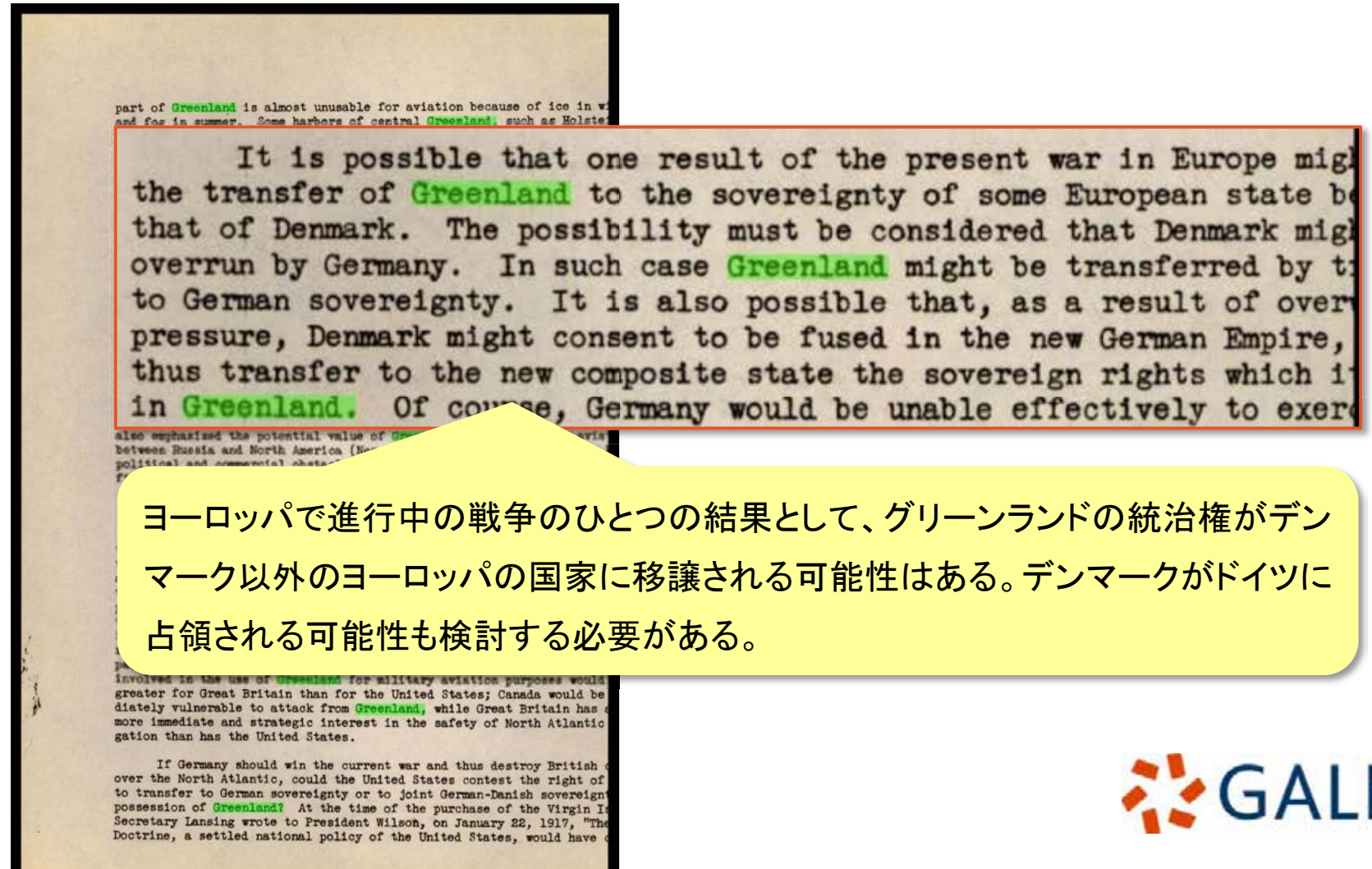
グローバル政治と米国外交:外交問題評議会(CFR)文書集 1918-2000年

Global Politics and US Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918–2000

P・モーズリー「グリーンランドの戦略的重要性」(戦争と平和研究グループ, 1940)



Mosely, Philip E. The Strategic Importance of Greenland. 17 Mar. 1940. TS Studies Department, William Diebold Papers on the War and Peace Studies Group

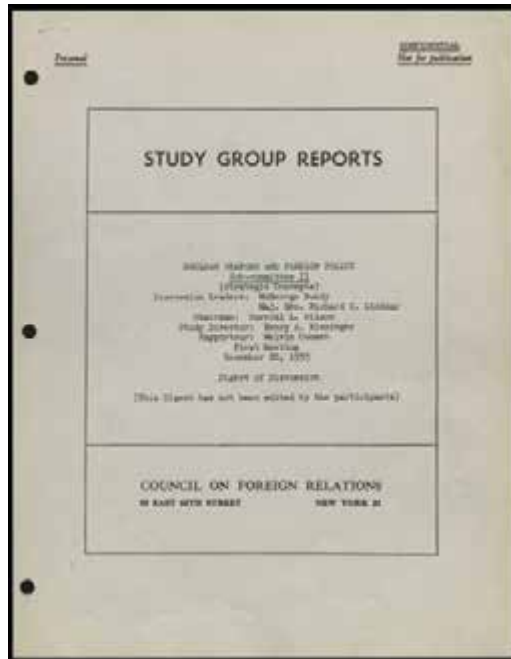


ヨーロッパで進行中の戦争のひとつの結果として、グリーンランドの統治権がデンマーク以外のヨーロッパの国家に移譲される可能性はある。デンマークがドイツに占領される可能性も検討する必要がある。

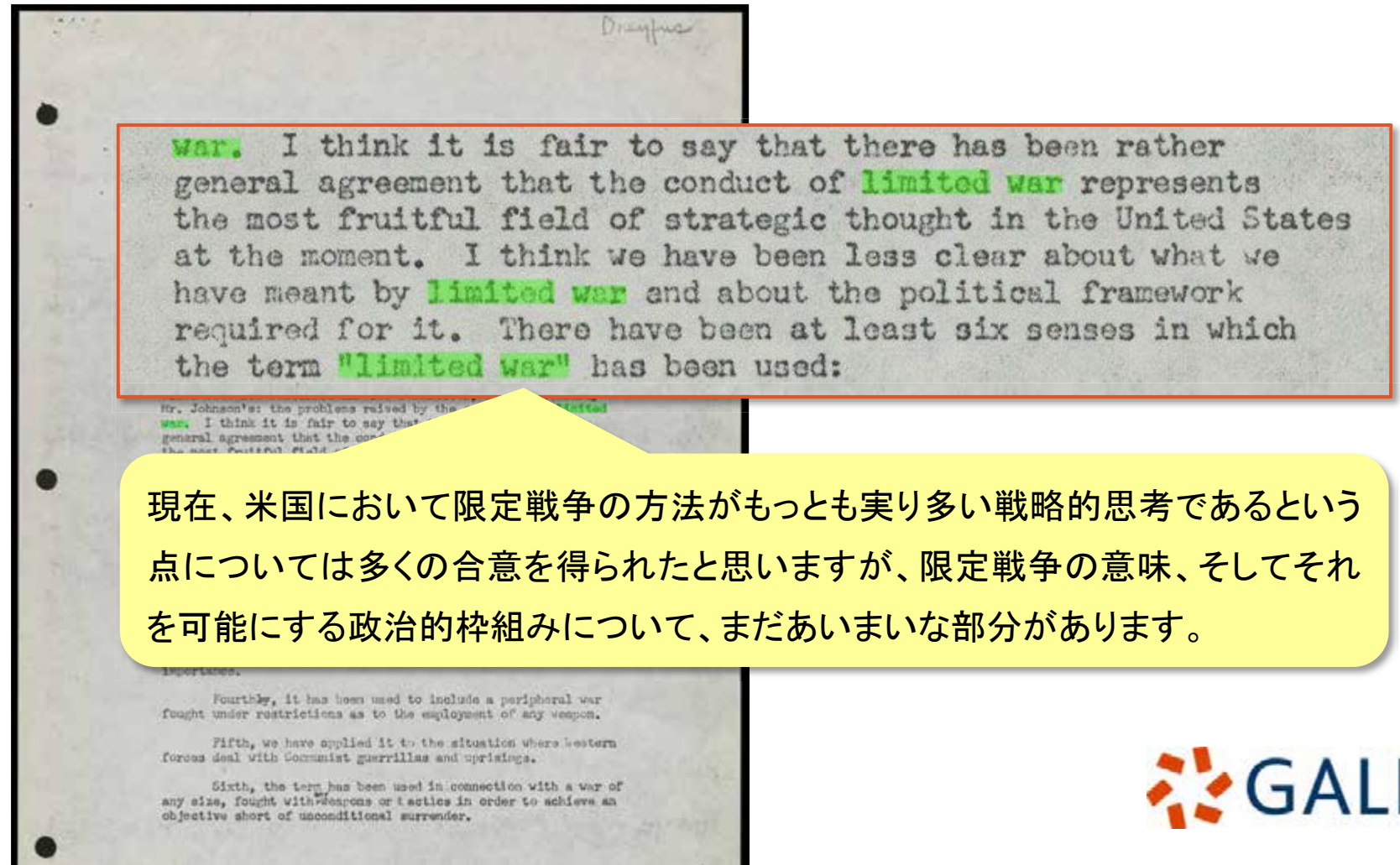
グローバル政治と米国外交:外交問題評議会(CFR)文書集 1918-2000年

Global Politics and US Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918–2000

H・キッシンジャー他: “限定戦争”をめぐる議論 (核兵器と外交政策研究グループ, 1954/56)



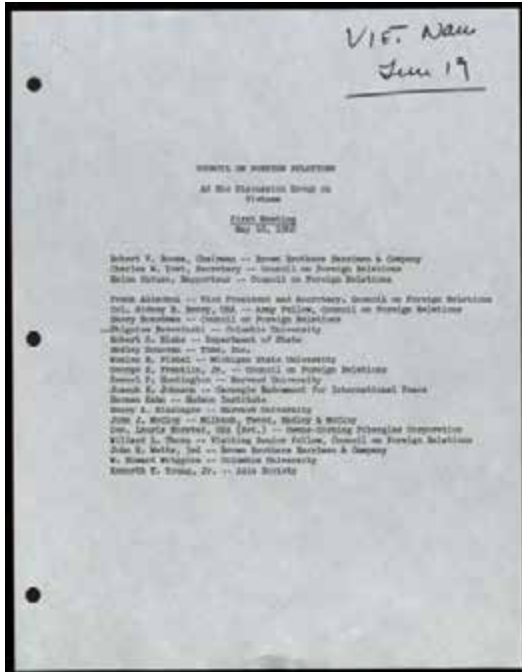
Nuclear Weapons and Foreign Policy Part II. 1954-1956.
MS Studies Department Records of Groups: Volumes.



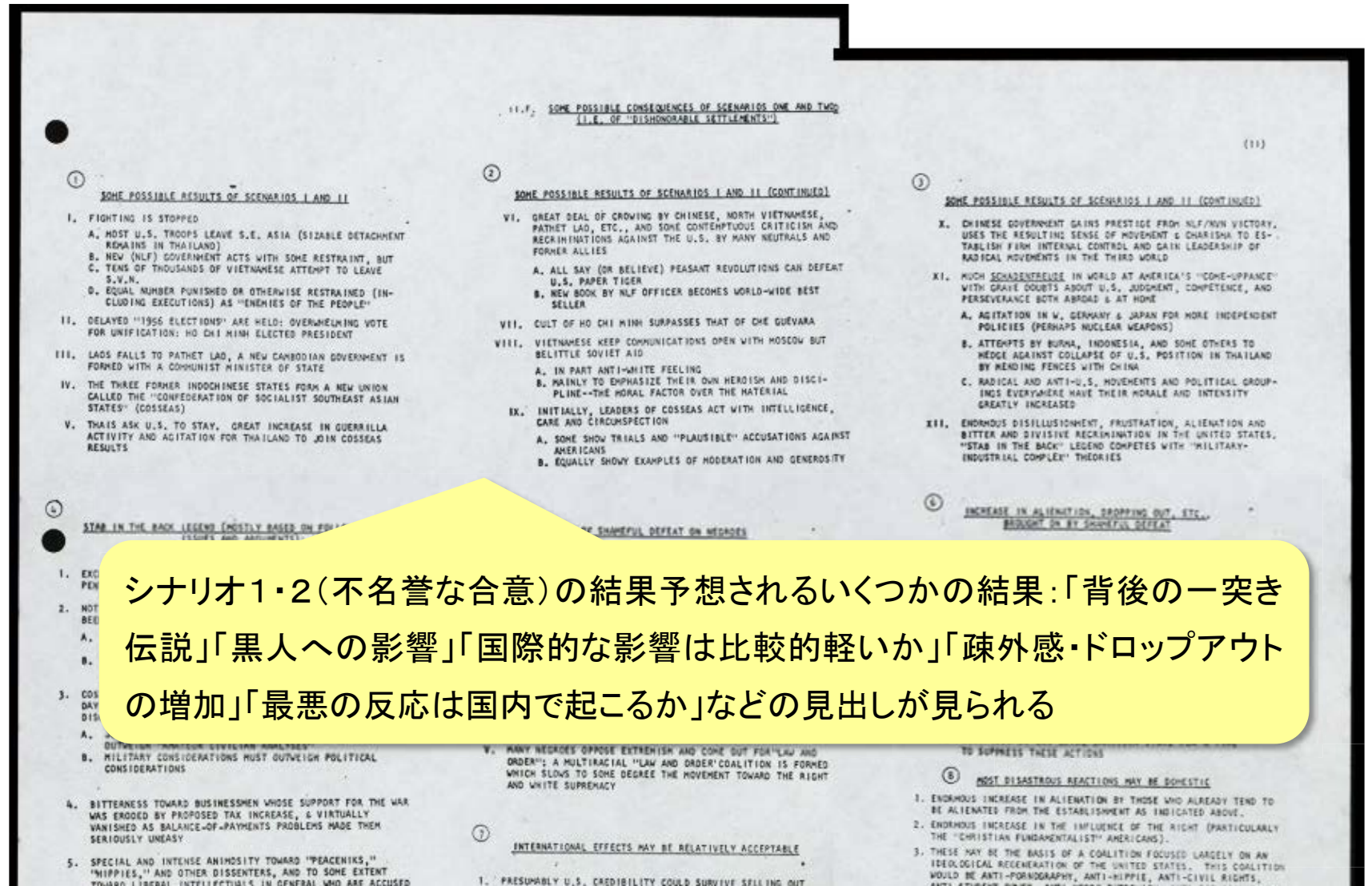
グローバル政治と米国外交:外交問題評議会(CFR)文書集 1918-2000年

Global Politics and US Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918-2000

ベトナムについての臨時ディスカッション (1968)



Ad Hoc Discussion on Vietnam. 1968. MS Studies Department Records of Groups: Volumes.



シナリオ1・2(不名誉な合意)の結果予想されるいくつかの結果:「背後の一突き伝説」「黒人への影響」「国際的な影響は比較的軽い」「疎外感・ドロップアウトの増加」「最悪の反応は国内で起こるか」などの見出しが見られる

グローバル政治と米国外交:外交問題評議会(CFR)文書集 1918-2000年

Global Politics and US Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918–2000

その他の研究グループ文書の例

国際関係

- 英米関係(1928–31, 1936–38)
- 国際関係理論(1953–54)
- 大西洋同盟(1955–56)
- 国際法と力の行使(1984–88)
- 環境とエネルギー:国際政策の諸問題(1991–92)
- 核兵器の廃絶(1996–99)

ヨーロッパ・ロシア

- 欧州における独裁国家の勃興(1936–37)
- マーシャルプラン(1947–48)
- NATO拡大に関する欧州研究タスクフォース(1994–96)
- ソ連の外交政策(1946–48)
- レオニード・クラフチュクとロシア・ウクライナ関係(1993)
- ロシアの新帝国主義?(1993)

アジア

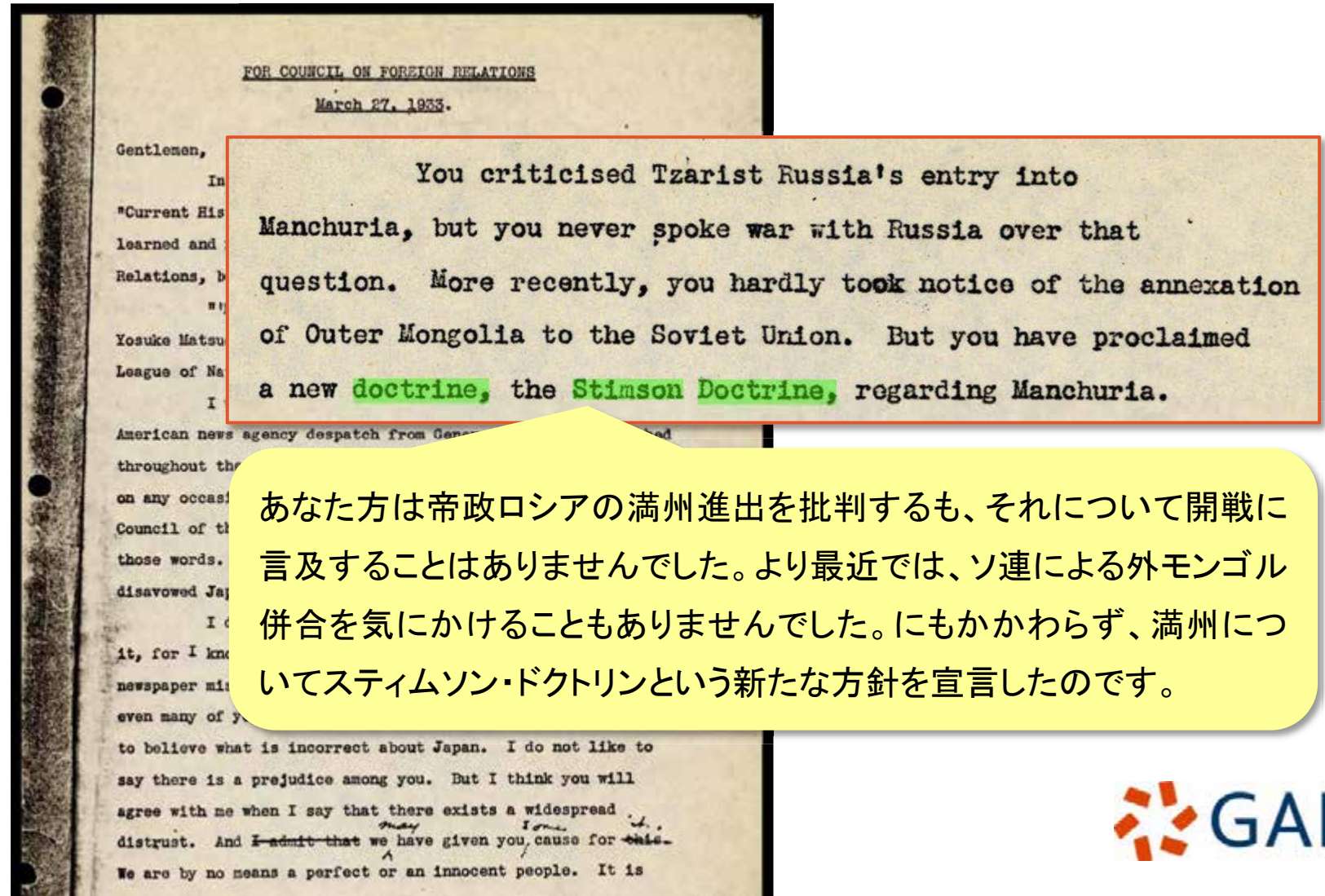
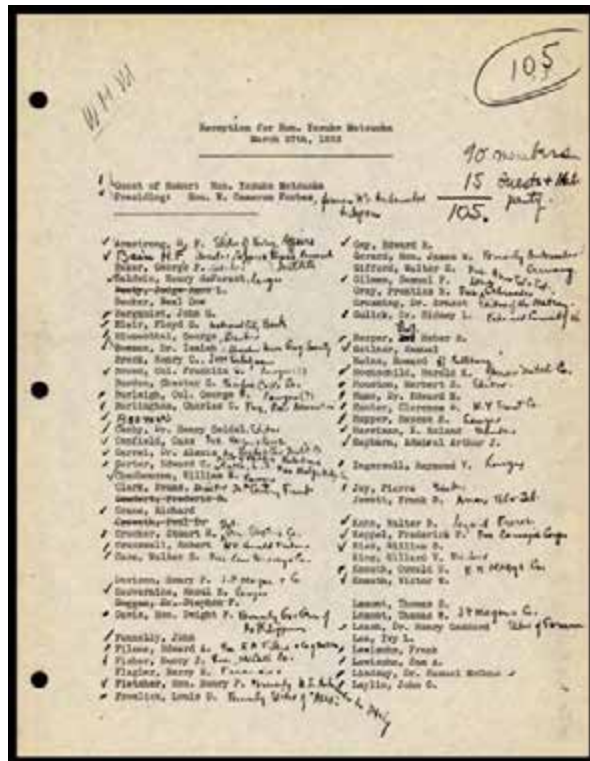
- 極東における外国の利権(1930–32)
- 日米間に真の平和の基礎は存在するか(1941–42)
- 共産主義中国とアジアにおける米国の政策(1958–59)
- アジアにおける日本の役割(1968–69)
- 中国ファクター:米中関係とグローバル問題(1980–81)
- フィリピンの基地(1986–89)

その他の地域

- アフリカにおける紛争と危機の解決(1978–79)
- ラテンアメリカ移民(1981–85)
- 米国の対南アフリカ政策(1985–86)
- 米国・イスラエル関係(1991–92)
- キューバの将来:見通しと危険(1993–94)
- ペルシャ湾への将来の米国による関与(1996)

グローバル政治と米国外交: 外交問題評議会(CFR)文書集 1918-2000年
Global Politics and US Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918–2000

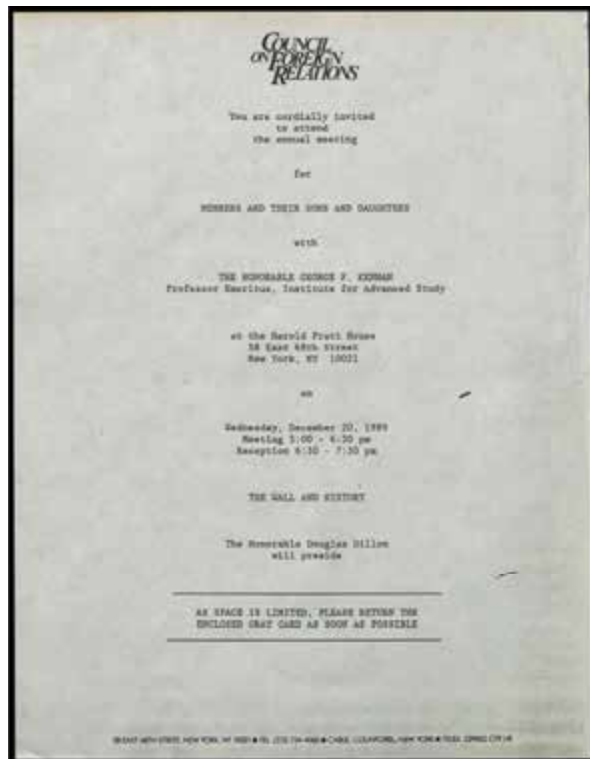
国際連盟脱退後の松岡洋右によるCFR訪問と演説（1933）



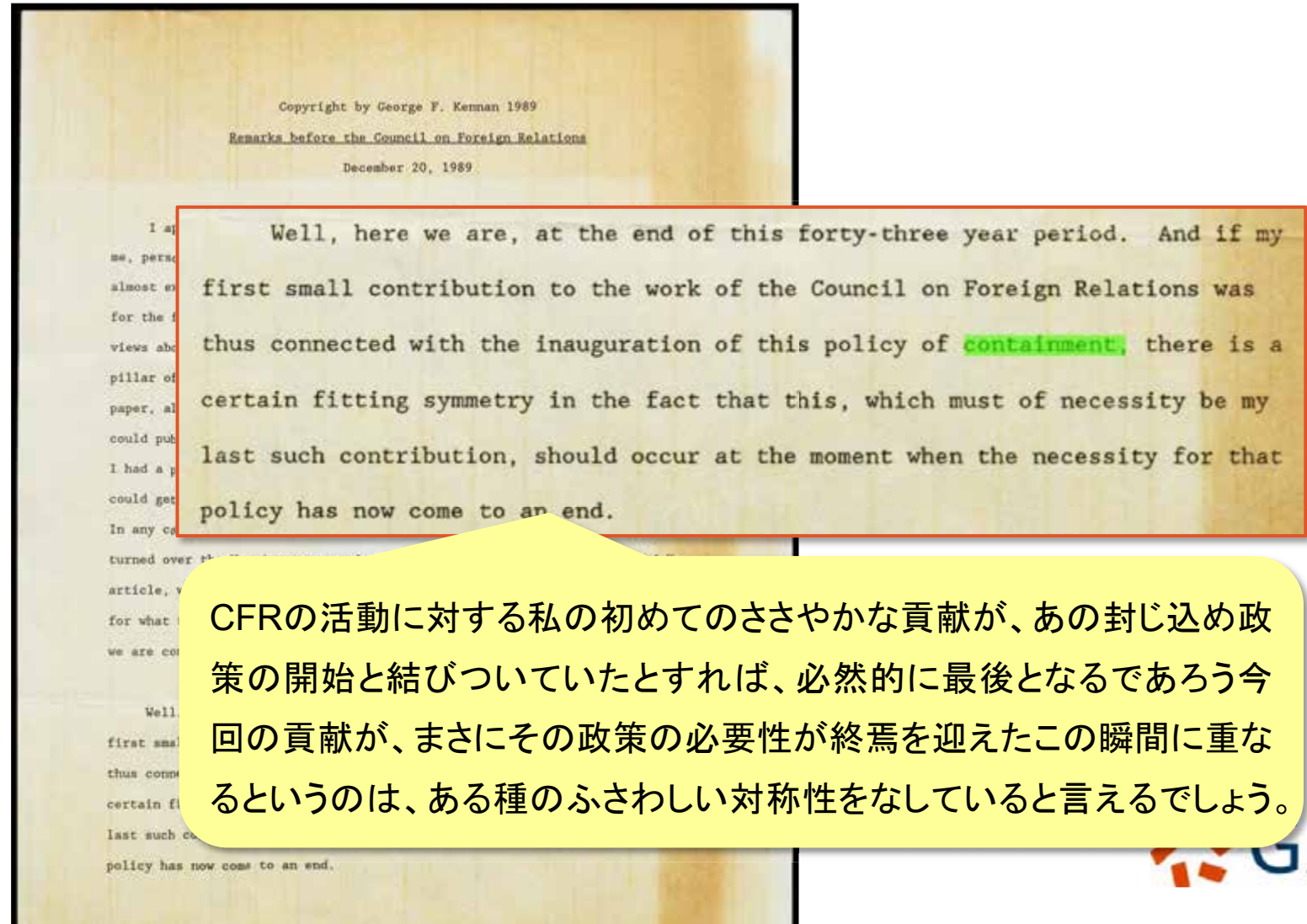
グローバル政治と米国外交:外交問題評議会(CFR)文書集 1918-2000年

Global Politics and US Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918–2000

ジョージ・ケナン「壁と歴史」 (1989)



Kennan, George Frost. The Wall and History. 20 Dec. 1989. MS Records of Meetings.



CFRの活動に対する私の初めてのささやかな貢献が、あの封じ込め政策の開始と結びついていたとすれば、必然的に最後となるであろう今回の貢献が、まさにその政策の必要性が終焉を迎えたこの瞬間に重なるというのは、ある種のふさわしい対称性をなしていると言えるでしょう。

グローバル政治と米国外交:外交問題評議会(CFR)文書集 1918-2000年

Global Politics and US Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918–2000

その他の会議文書の例

- E・ルート／H・スティムソン「フィリピンにおけるアメリカの政策」(1926)
- 胡適／J・D・グリーン「中国の戦争」(1937)
- ブランド卿／T・S・ラモント「英国の経済危機」(1947)
- J・F・ダレス「外交政策の発展」(1954)
- 勝間田清一「日本の外交政策に関する日本社会党の見解」(1955)
- G・ケナン「1957年:米国の外交政策の問題」(1957)
- 葉公超／H・M・リストン「台湾海峡」(1958)
- 小坂善太郎／D・ラスク「日本と米国」(1960)
- C・ジェーガン／P・C・ジェサップ「小国の役割」(1961)
- H・アルファン「フランスと今日の国際情勢」(1963)
- E・F・モンタルバ／R・A・ダンガン「米国・ラテンアメリカ関係の現実」(1971)
- Z・ブレジンスキー「1980年代におけるアメリカ外交の重要課題」(1980)
- E・シアガ「ジャマイカの回復が政策に示唆するもの」(1982)
- M・カンペルマン「マドリッドとポーランド:ヘルシンキの未来」(1982)
- M・ブテレジ「アパルトヘイトに対するインカタの挑戦」(1983)
- C・ヴァンス「中東和平の展望:イスラエルからの視点」(1984)
- 宮澤喜一「日米パートナーシップ」(1985)
- R・マクナマラ「核戦争のリスクを低減する」(1985)
- W・ロード「ベトナムがアメリカの外交政策に与えた影響」(1985)
- M・クスマアトマジャ「東南アジアにおける平和の展望:インドネシアの視点」(1986)
- 金大中「朝鮮半島と北東アジアが直面する新たな課題:韓国と米国の役割」(1988)
- 銭其琛「よりよい世界のために:中国の外交政策」(1988)
- 小穴雄康「グローバル市場における日本の銀行の財務競争力」(1991)

グローバル政治と米国外交:外交問題評議会(CFR)文書集 1918-2000年

Global Politics and US Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918–2000



ご利用条件について

- **利用条件の承諾:** 外交問題評議会の歴史的記録を利用する条件として、私は、評議会の記録、または評議会が保有する未公表の記録に基づいて、いかなる存命者に対しても、その人物からの書面による同意を得ることなく、事実または意見の主張を直接的または間接的に帰属させないことに同意します。
- 本アーカイブの収録資料を引用する際、存命中の個人の名前は、本人の許可なく使用してはなりません。
- **Acceptance of Conditions of Use:** As a condition of use of the historical records of the Council on Foreign Relations, I hereby agree that I will not directly or indirectly attribute to any living person any assertion of fact or opinion based upon any Council record, or upon any unpublished record held by the Council, without first obtaining from such person their written consent thereto.
- The names of living individuals should not be used when citing material found in this archive without their permission.

デモンストレーション

グローバル政治と米国外交:外交問題評議会(CFR)文書集 1918-2000年

Global Politics and US Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918–2000

研究トピックの例

- ・ 国際政治・国際関係
- ・ 国際法・紛争解決
- ・ 冷戦と米国の対外戦略
- ・ 超党派的合意の構築
- ・ 多国間主義と単独行動主義
- ・ 戦間期・第二次世界大戦
- ・ 植民地主義とポスト植民地
- ・ 移民・難民問題
- ・ シンクタンクとその影響力
- ・ エリート主義とポピュリズム
- ・ その他

関連するGALE商品



ご清聴ありがとうございました。

無料トライアルのお申込み・お問い合わせは下記まで

GaleJapan@cengage.com

www.gale.com/jp

 **x.com/gale_japan**